

如之何

第 8 号

発行 横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会長 小山 勇吉
編集人 中村 丈之
港北区新羽町1525
☎ (541) 0869

おめでとうございます

新羽地区社会福祉協議会 会長 小山 勇吉

路傍で見かける「庚申様」が、中之久保部落と専念寺谷戸の境に昔からあります。去年新築したお堂へ供えた賽銭箱が、三度も壊されてお金がなくなりました。

「今度、箱の口を広くして、手が入るように修理してみた。お参りした人の願ひは、賽銭をあげた時に庚申様へは通じている筈。困った人が僅かな賽銭を失敬して、空腹をしのいだのだろう。」と説明してK氏F氏は帰っていきしました。

二人のおおらかな心、優しい気持ちから、家庭や地域に流れている温かさに、意識を改めさせられたのです。

もう一つは「教育の目的は奉仕の心をつくることです。」と昨年の福祉大会での水越先生講演の一節が、頭から離れないのです。一流大学から有名企業への就職が勉学の目標ではないこと。既に米国ではボランティア活動が学習単位になつてゐること。

『福祉の土壌と教育』を課題として、まず家族について皆様と考えてみたいのです。亥年生まれの方に考えを聞いてみました。



乙亥年 中山 幹雄

農家の次男坊に生れた時から大家族。男の兄弟八人、當時は一般的であつた。中には一ダースの家もあつた。ところが現在では子供が一人か二人、又、其の子供が結婚すれば別居するのが当り前のようになつてゐる。しかし、私は自

丁^{ひのと}
亥^い年
工藤
朋子

分の子供達にはお年寄や親を大切にしなさいと教えてきた。私自身親を大切にし其の姿を見て子供達は祖父母に対し、いつでも優しくしてくれている。又、私は子供達と共通の趣味を持ち、なるべく多くのコミュニケーションの場を持つようにしている。年に何回かは長男長女とゴルフに行き楽しんでゐる。お年寄の知恵と若者の考えを理解し、家庭内に於てお互に信頼しあい尊重している。欧米の自己主義的生き方、日本の家族主義的生き方、人それぞれ自由であるが私は世界のどの国よりも日本的生き方が好きだ。お年寄と若者が仲良く生活出来る国になるよう、私達がモデルとなる事が大切だと思ひます。

(大竹町内会)

私は秋田の農村で曾祖母、祖母、両親、兄妹五人の大家族で育ちました。昭和四十四年、結婚を機に新羽町に住み、主人との生活が始まり、娘二人に恵まれ色々な方々と巡り合い、又、たくさんの友がそれぞれにでき、我家を出入し、家族がいればこの賑やかさで、

かのと
辛
亥
年
梅
津
智
美

今日に至りました。去年は、次女が成人式を終え、自分の道を歩きだし、長女が春結婚し、幸せいっぱいです。嫁ぎ先の両親、娘の主人と家族の輪が広がり、うれしいかぎりです。そして私共は、あつという間に銀婚式を迎えました。人はそれぞれ違う考えや、価値観を持っています。互いにそれらを認めあいながら、歩んできたように思います。これからは、主人と二人きりになるでしょうが、心温かい主人に感謝を忘れず、五十路を前進したいものと思っております。

(新羽町内会)

(新羽町内会)

私の家は、父以外は全員女性の四人家族である。「似た者夫婦」ということわざがあるが、それは我が家の為にあるのでは……と疑いたくなるほど、性格的によく似た夫婦・親子だ。明るく言えば、聞こえが良いが、ようするに物事にあまりこだわらない。たまに無神経すぎて、腹立たしさを感じる時もある。しかし、今回改めて二、三年間を振り返ってみて、受験や就職の時等、色々悩んだ際今までマイナス面だと思っていた「明るい性格」に救われてきた様に思う。優しい言葉一つかけてくれるわけではない。それでも、家族と一緒において、家庭の温かい雰囲気包まれてるだけで、全てが癒されてしまう様な気がする。

近い将来、私も新しい家庭を築くだろう。その時は……

新羽地区社会福祉協議会

言葉にしくても分かり合える
そんな家庭にしたいと思う。

(中之久保町内会)

年		新		賀		謹		副		相		會																		
常務理事	理事	會計	監事	廣報委員長	委員長	副委員長	委員	委員	委員	副會長	相談役	會長	副會長																	
土岐章臣	堀井佳一	渡邊佳子	吉森洋子	東海林紀子	飯塚米昭	小山村清見	中村丈之	松村清見	小山村喜男	中村信男	米山孝男	永井喜雄	秋本義雄	小林清雄	岩崎和雄	鎌田弘憲	中山幹雄	米山滋	中山賢治	峯木章隆	土岐臣	西山登之	中村丈之	金堂豐	柴田周	中山安	中山福平	金子米太郎	長澤茂	小澤勇吉

施設見学研修会

民生委員 米山 孝子

新羽地区社会福祉協議会は事業の一環として、福祉の知識と見聞を深める為に、施設見学を実施しました。

十月十八日、千葉県鴨川市大幡にある、自然環境に恵まれた特別養護老人ホーム「めぐみの里」と併設の身体障害者療護施設「しあわせの里」を訪問させていただきました。

参加者四十一名で施設長さんより施設の概要等の説明を受け、各設備や部屋等を見て廻りました。この施設の母体は、近くにある亀田総合病院であり、医療体制が整っているのが安心です。

特別養護老人ホームや身体障害者療護施設で働いている職員の方々は、心から一人ひとりに接し、その人の気持ちになって仕事している姿をみてみると頭のさがる思いです。

これからは高齢化社会になりつつあり、また交通災害や脳血管障害等で身体障害者が増加し、ますますこの様な施設が必要になるのではないかと思います。

施設見学に参加するたびに、健康でいられる事を感謝しています。

~~~~~

## ボランティア活動

新羽地区民生委員協議会の婦人委員、六名の方達が、毎月第一、第三土曜日の午後より、新吉田町のみどり園で洗濯物の折たたみ、その他整理整頓作業を奉仕しています。

洗濯物が沢山あり、大変な作業であります。



## 楽しかったこのま沢キャンプ

新田小学校 五年 三毛 渉

ぼくは、夏休みに子供会のみんなとキャンプに行きました。バスの中で、ゲームをやっているうちに、すぐ相模湖に着きました。そこで昼食をすませて、キャンプ場に着きました。

それから入村式をしました。が、『早く川遊びしたいな』と思っていました。

川に着いて、始めは水が冷たかったけど、十分も泳いだら、すっかりなれました。友達のところに行こうとして立ち上がったら、深みにはまってしまつて、すごく苦しかったです。

水遊びの時間が終わって、次はいよいよカレー



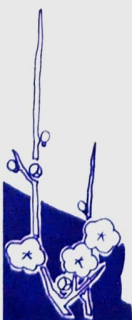
ので、さん歩をしました。そして、いくつかの間にかねわってしまい、気がついたら朝でした。

二日目も川遊びでした。さすがに朝なので、夏だというのに川の水がすごく冷たくて、十分も入れませんでした。昼食後は最後の川遊び。二日間いたのに、少ししか遊んでいないような気がしました。『もつと川遊びをしたかったな』

いよいよこの村ともお別れです。楽しかったので、また来年も来たいなと思いました。

## 『パトロール』をして一言

新羽地区に限った事では無いのですが、乗り捨て状態の自転車を多く見掛けます。確かに物が多く、安く買え、それに加えて使い捨ての世の中といえそのまま放置され朽果ててしまうのを見ると、余りにも勿体無い話です。昔は一台の自転車を整備しながら大事に長く乗ったものです。 防犯部 飯塚



## 編集後記

年頭にあたり「ふくしの和」八号では「亥」年の方々に、「家族」をテーマにした文章を書いていただきましたが、いかがでしたでしょうか。今後も明るい町作りの為に心温まる話や福祉に関するご意見をお寄せ下さい。 広報委員

おもち  
新田小学校  
4年 免澤雄介

